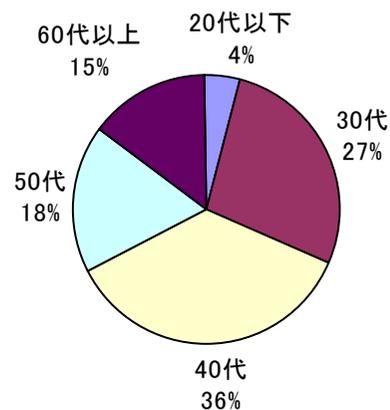
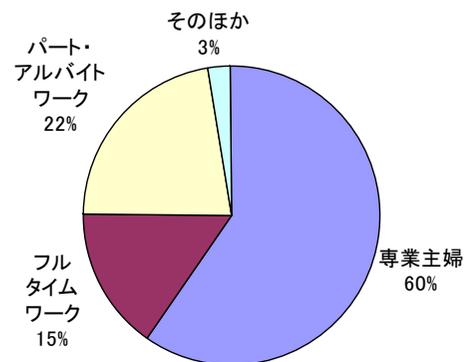


回答者プロフィール

年代

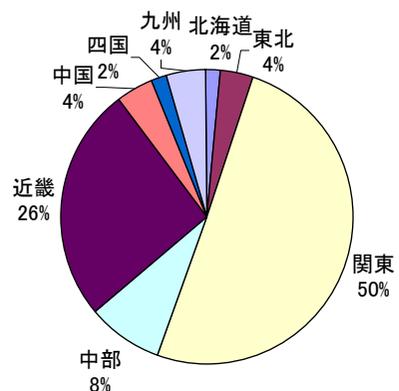


働き方

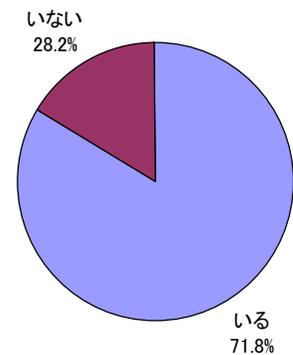


平均年齢44.4歳

居住地

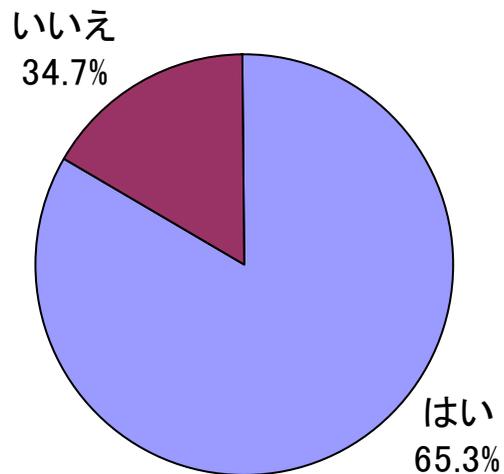


子ども有無

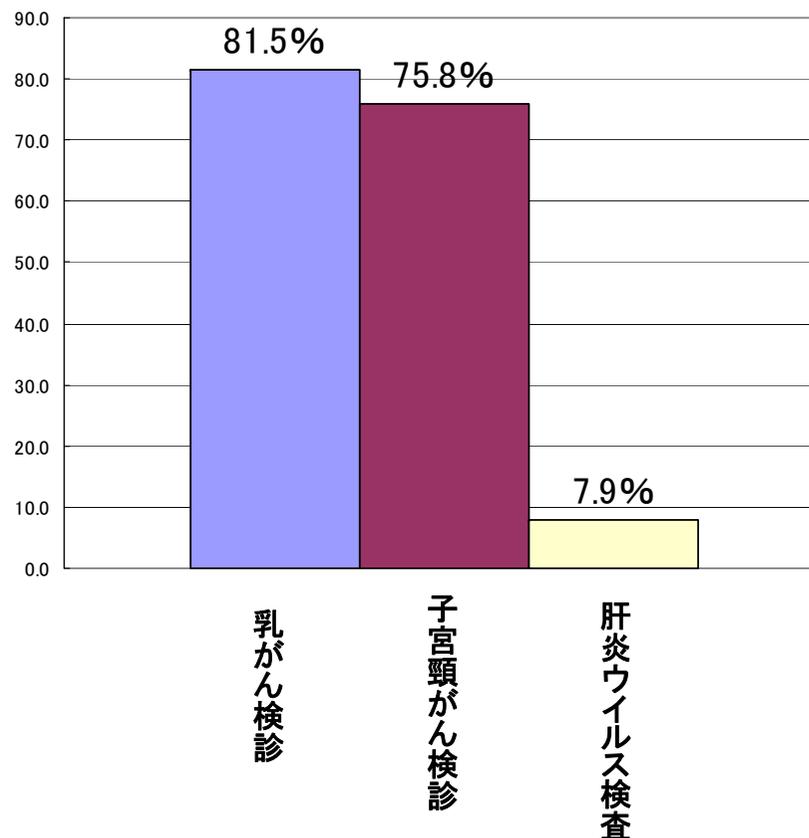


健康診断について

Q:あなたは毎年健康診断を受けていますか... (SA)



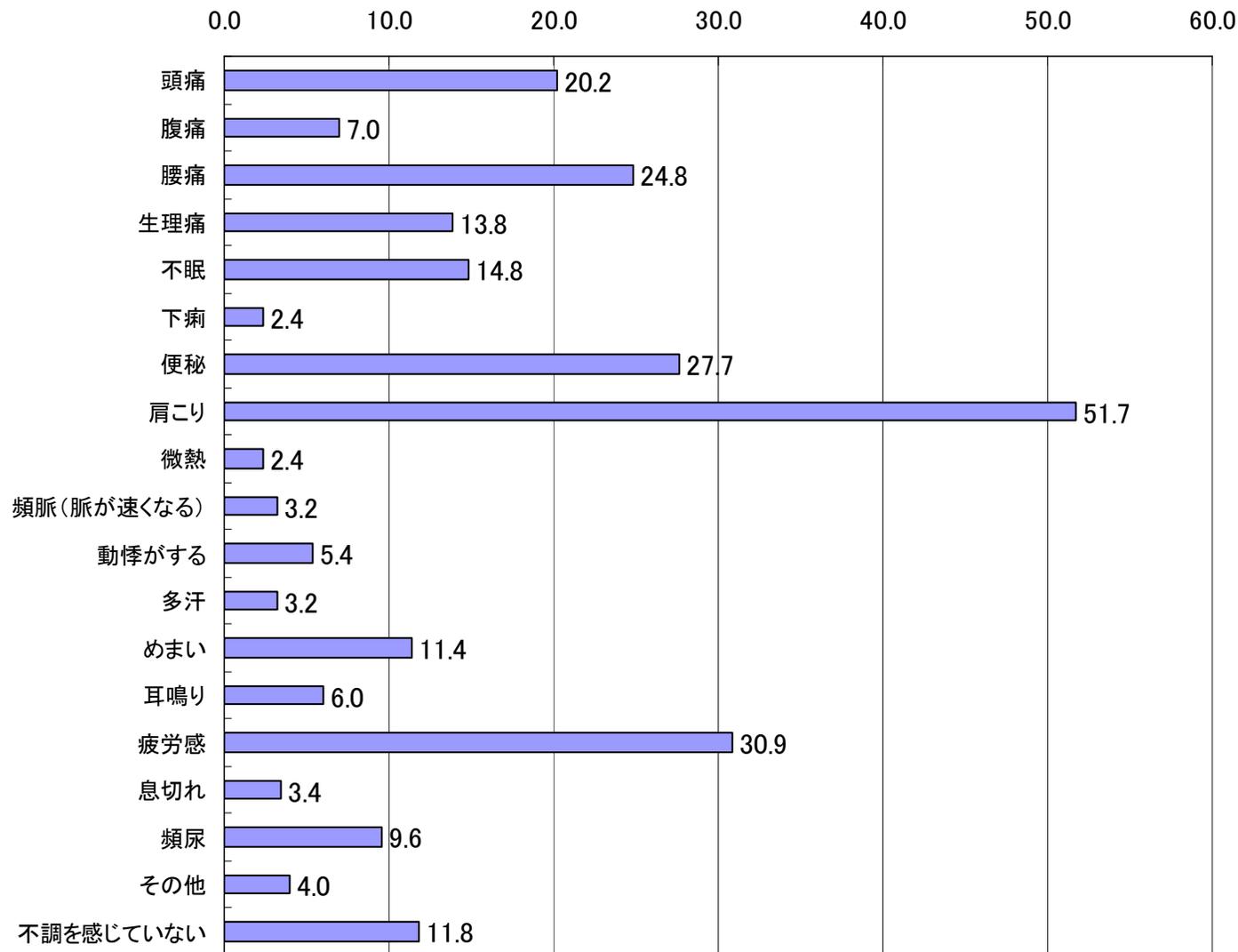
Q:通常の健康診断に追加で自費負担にて受けていますか。該当する検査をお選びください...(MA)



約7割弱は健康診断を受けている。
自費負担での追加検査は約8割が乳がん検診と子宮頸がん検診を受けており、女性疾患への関心度が高いと言える。

慢性的な不調

Q:あなたが日常で気になっている慢性的な症状(不調)はありますか。該当する症状をお選びください... (MA)

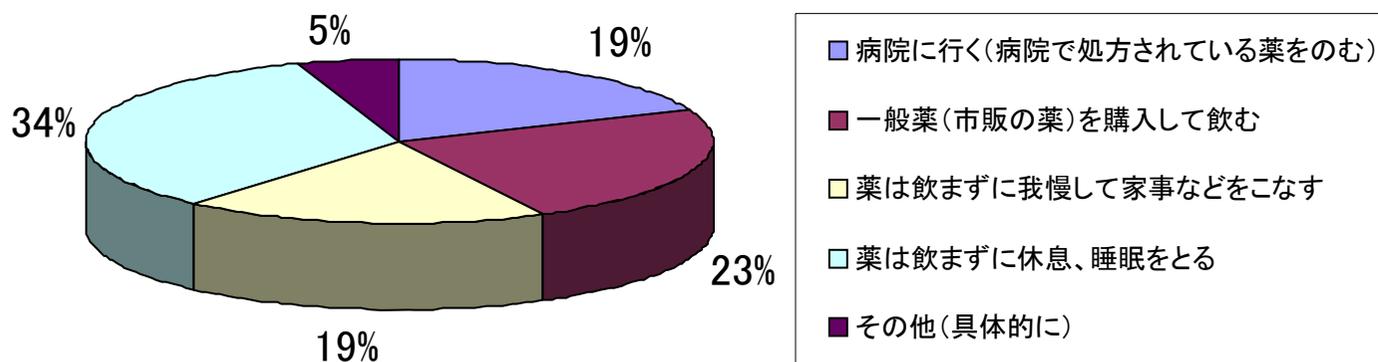


主婦が日々感じている不調は「肩こり」が圧倒的に多く、「疲労感」「便秘」「腰痛」「頭痛」が順に並び、「痛み」に関係しているものが多い。

※値は%です

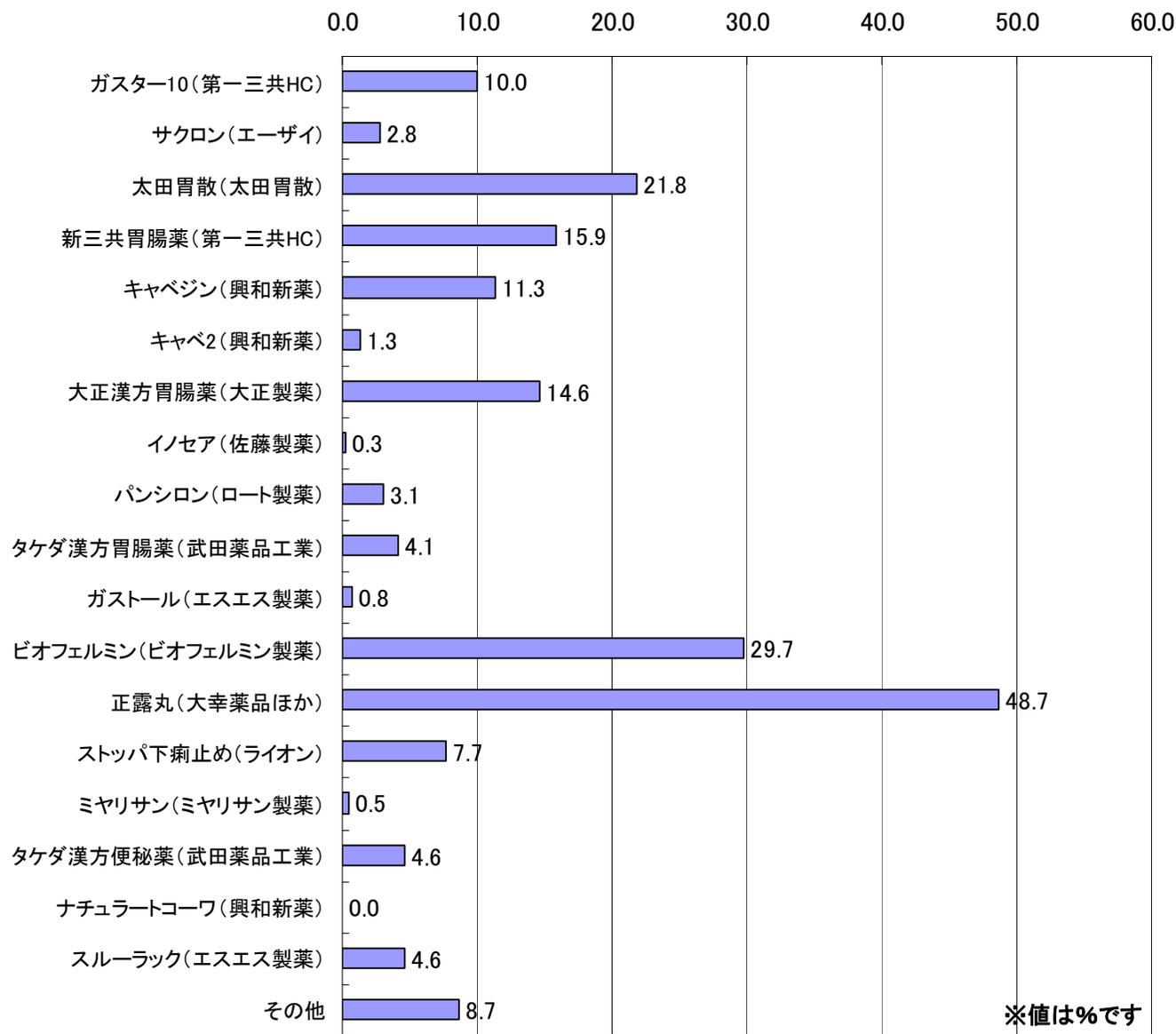
不調を感じたときの対応

Q:不調を感じた時にどんな対応をしていますか...(SA)



最も多いのは病院にも行かず、薬も飲まずに休息、睡眠をとるという対応。
続いて、一般薬を購入して飲む人が多く、病院に行くのはわずか19%。

Q:あなた自身やご家庭での常備薬(常備薬品類)はありますか。該当するものをお選びください... (MA)



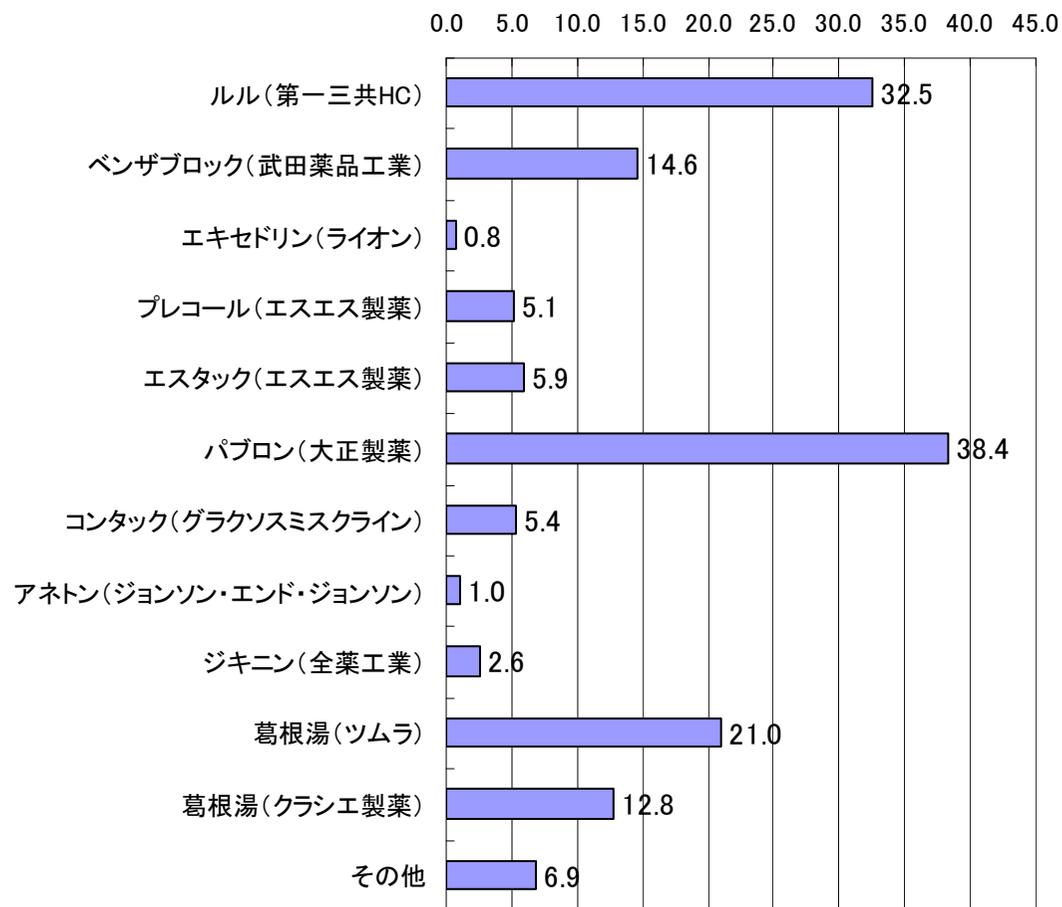
常備薬について
(胃腸薬・下痢止
め・便秘薬)

約半数の主婦が「正露丸」を
常備薬として持っており、
「ビオフェルミン」、
「太田胃散」と続く。

※値は%です

常備薬について（風邪薬）

Q:あなた自身やご家庭での常備薬(常備薬品類)はありますか。該当するものをお選びください... (MA)

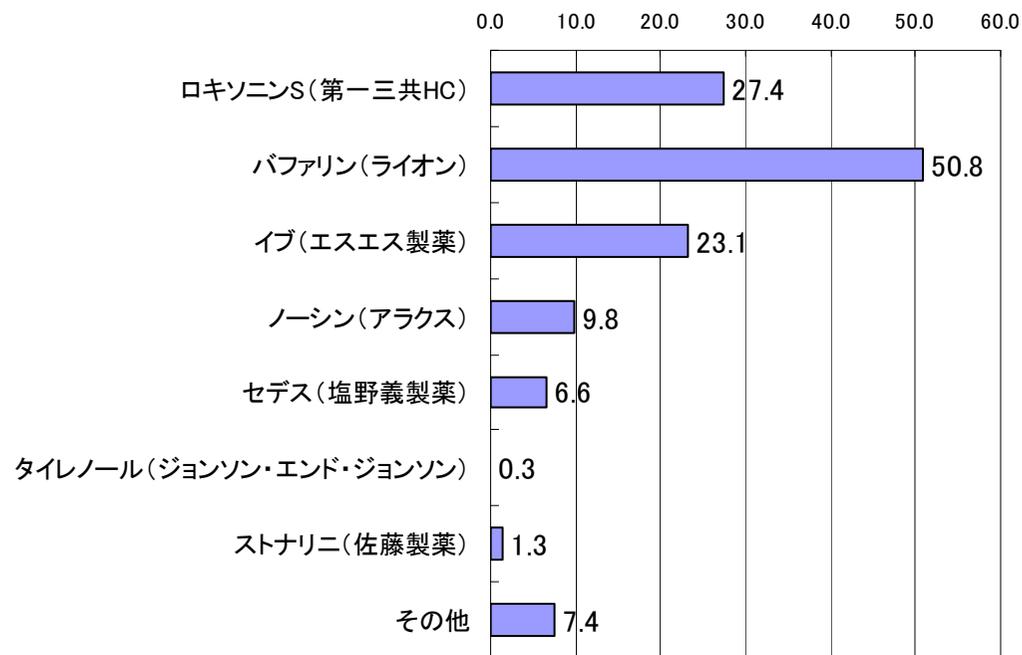


風邪薬として「パブロン」を常備している
家庭が約4割。
続いて「ルル」が3割となっている。

※値は%です

常備薬について（頭痛薬・痛み止め）

Q:あなた自身やご家庭での常備薬(常備薬品類)はありますか。該当するものをお選びください... (MA)

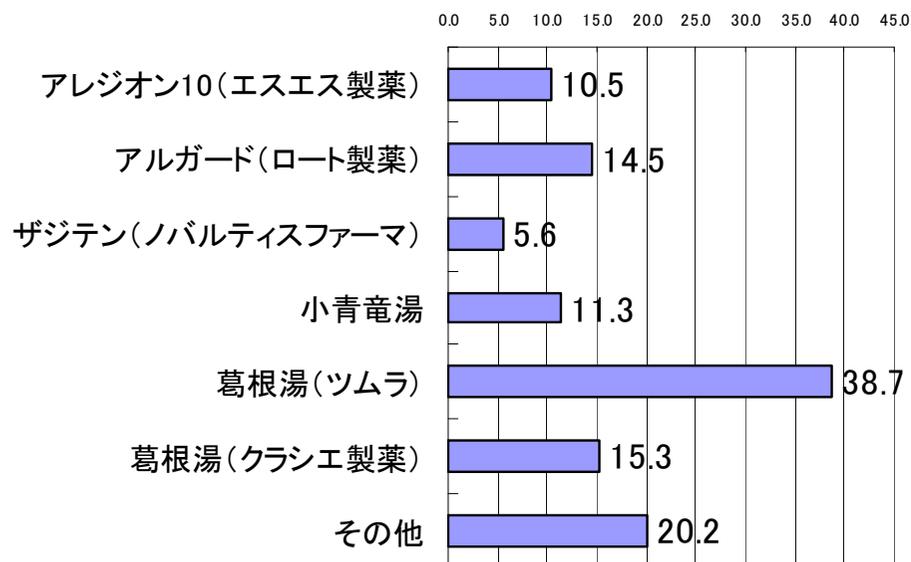


※値は%です

「バファリン」は約半数の家庭で常備されており、
続いて「ロキソニンS」、「イブ」が
20%台となっている。

常備薬について（アレルギー薬）

Q:あなた自身やご家庭での常備薬(常備薬品類)はありますか。該当するものをお選びください... (MA)

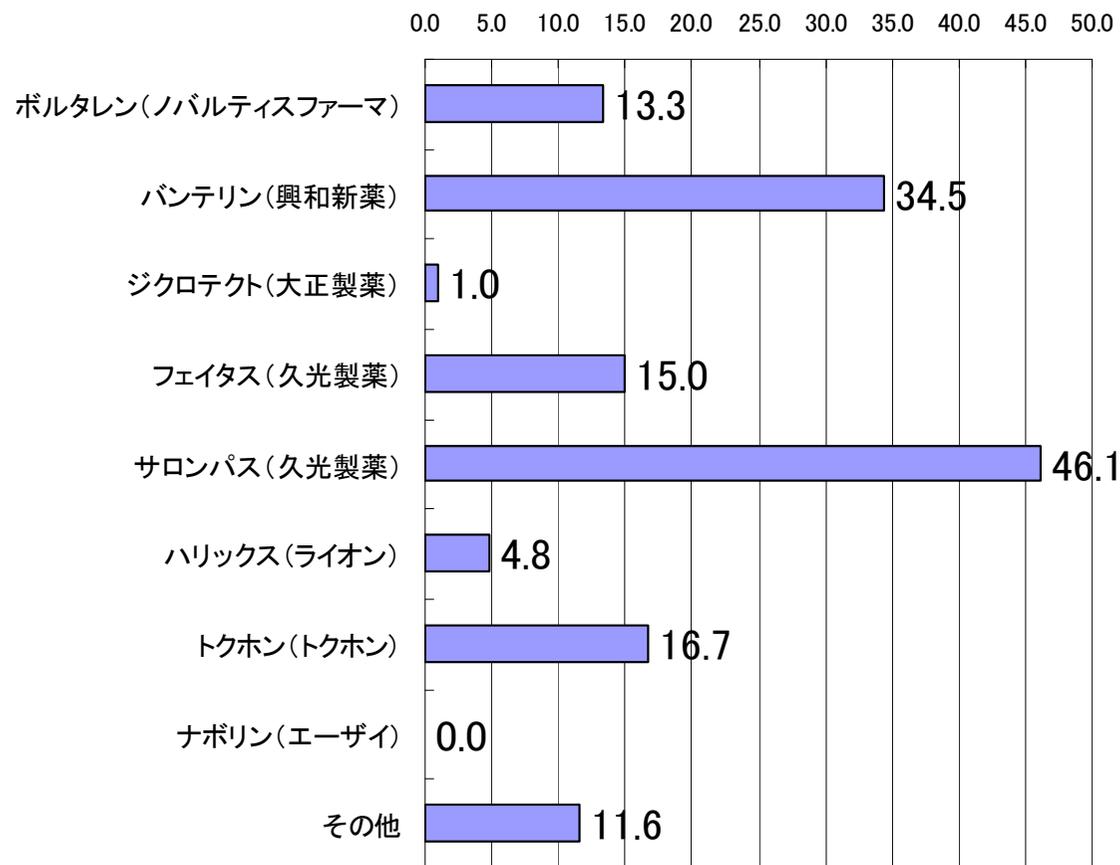


「葛根湯」が1,2位と続くが、この差が約20%ひらいており、ツムラの「葛根湯」の方が所持率が高い。

※値は%です

常備薬について（肩こり・関節痛薬）

Q:あなた自身やご家庭での常備薬(常備薬品類)はありますか。該当するものをお選びください... (MA)

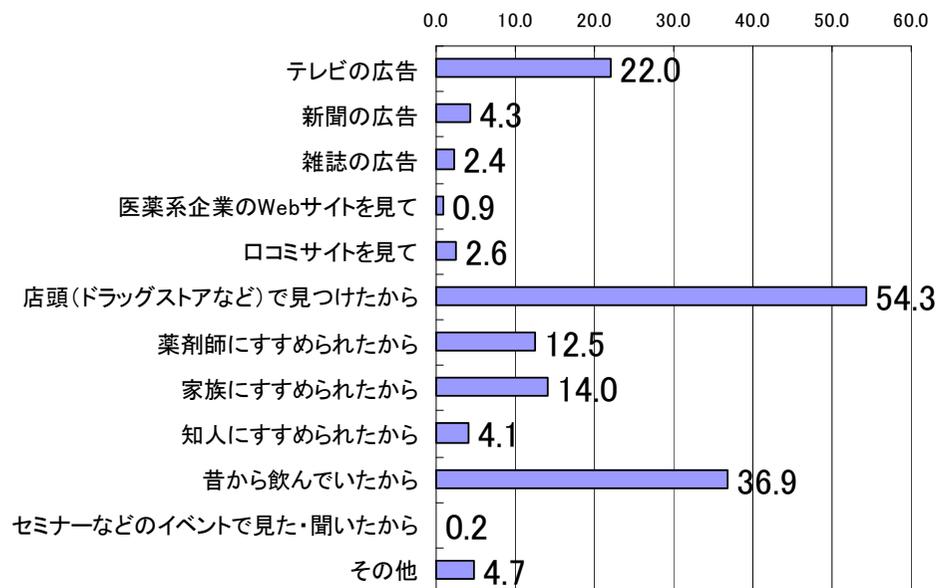


約半数の家庭で「サロンパス」は常備されており、続いて「バンテリン」、差があいて「トクホン」、「フェイタス」が並んでいる。

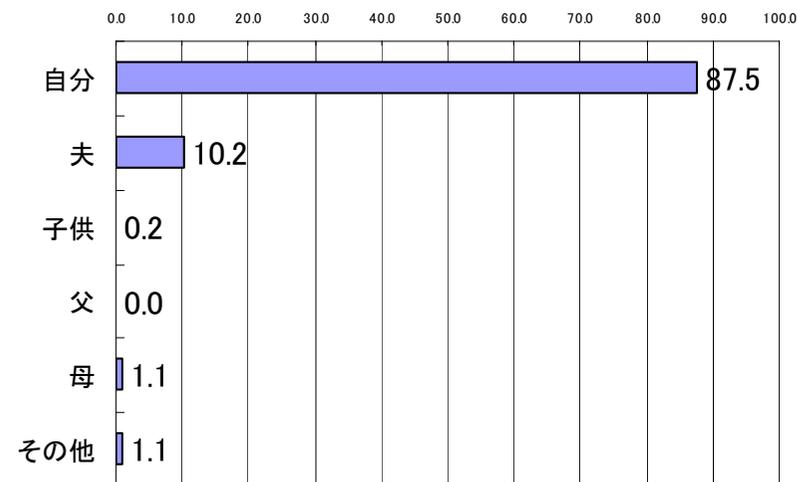
※値は%です

常備薬購入のきっかけ

Q:常備薬を選んだ(購入した)きっかけは何ですか... (MA)



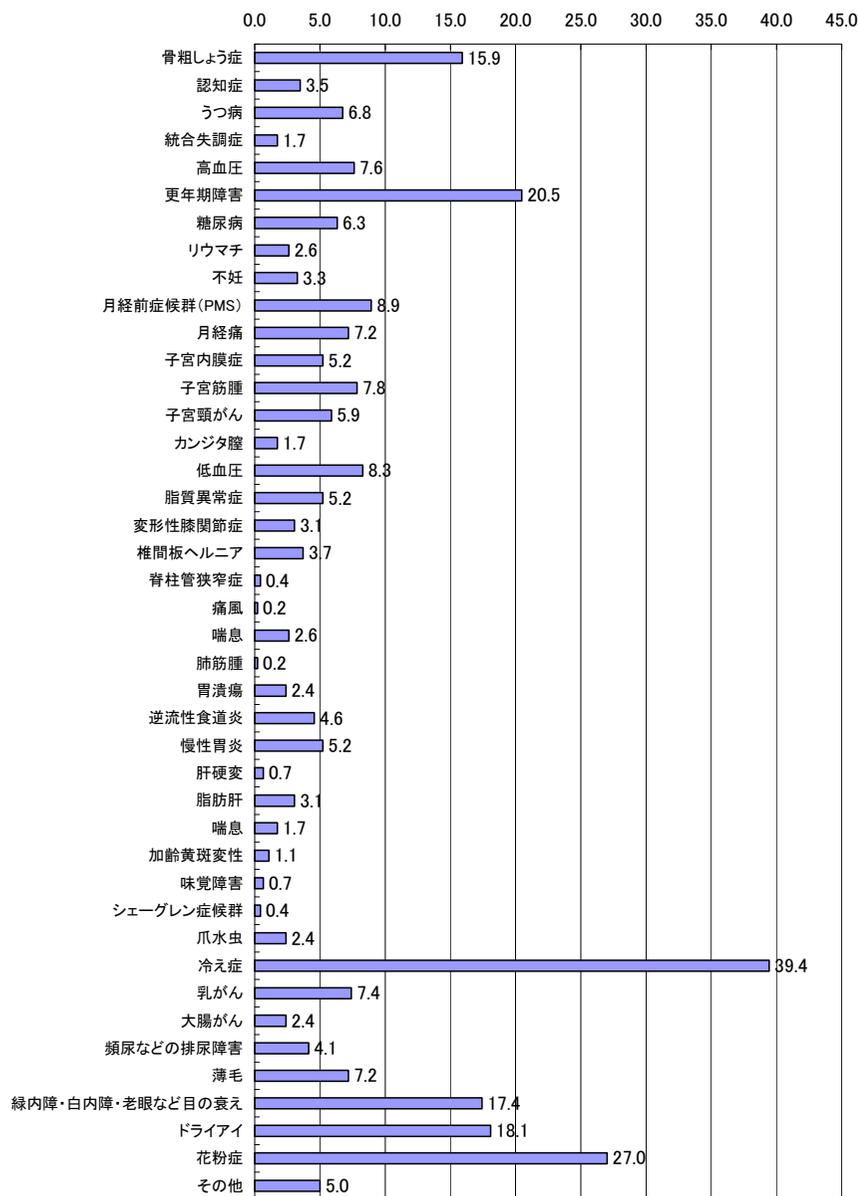
Q:常備薬を購入したのは誰ですか... (SA)



※値は%です

半数以上は「店頭で商品を見つけて」購入している。続いて、「昔から飲んでいたので」購入している人が約4割。購入者は主婦本人が圧倒的に多く約9割。続いて大差がついて、「夫」が続く(10.2%)。

Q:あなたがあなた自身のことで、今気になっている病気や症状はありますか... (MA)

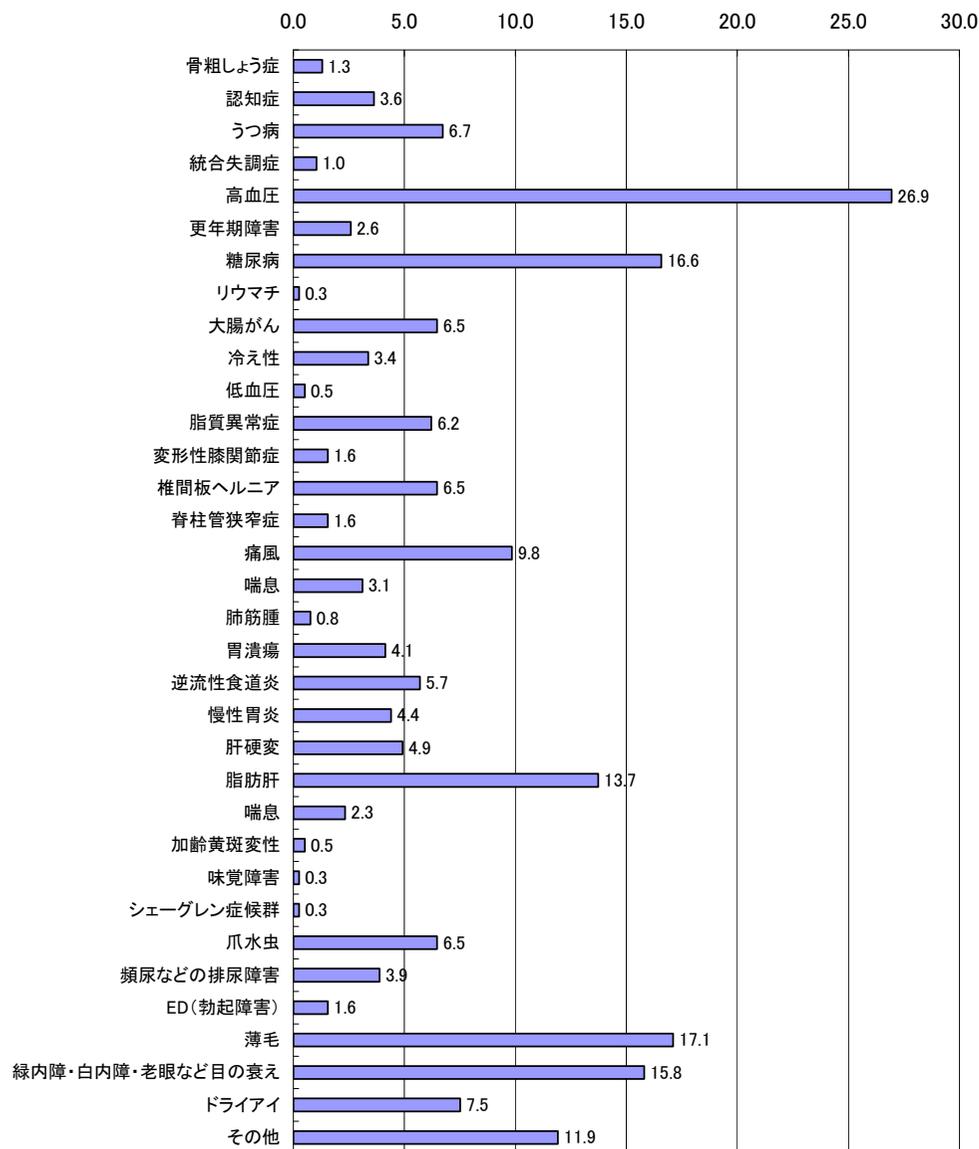


自身の「今」気になる病気・症状

比較的女性が多く悩んでいると言われている「冷え性」が約4割と最も多く、続いて「花粉症」「更年期障害」が約2～3割となっている。

※値は%です

Q:あなたが夫のことで、今気になっている病気や症状はありますか... (MA)

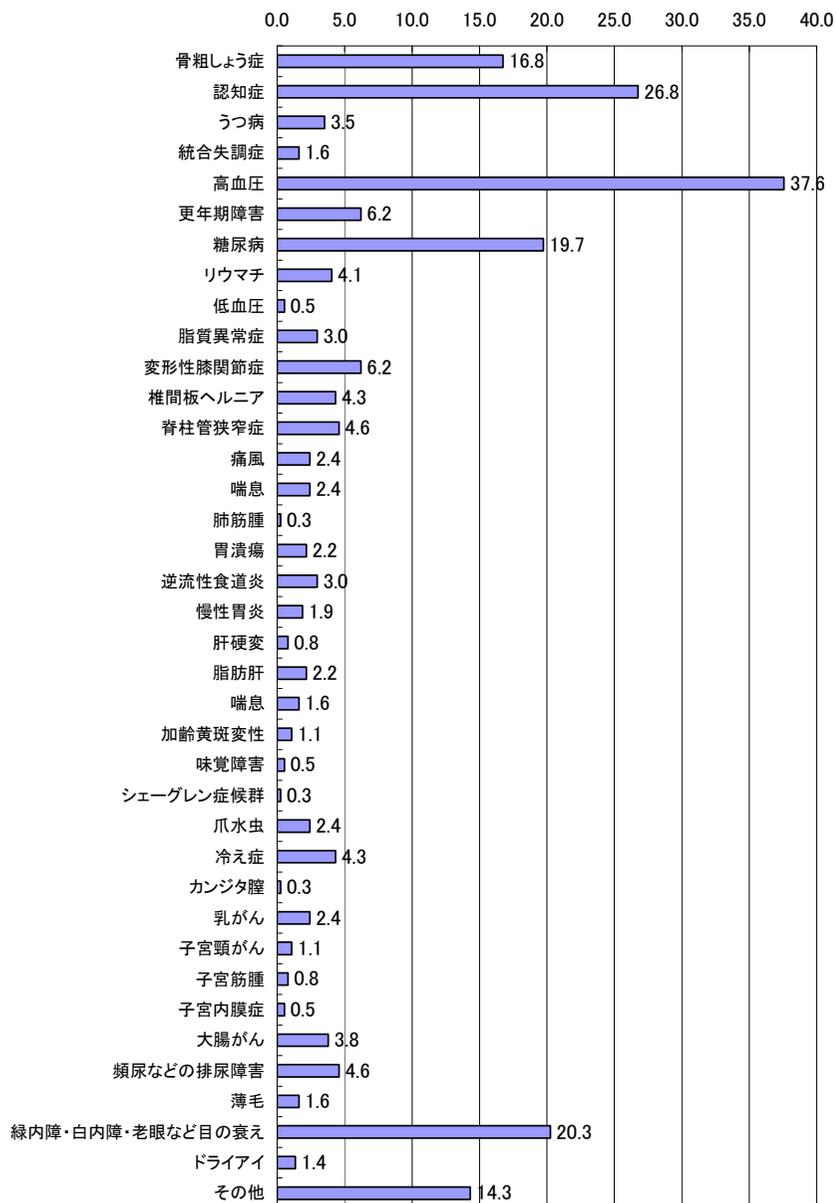


夫の「今」気になる病気・症状

「高血圧」が26.9%と最も多く、次いで「薄毛」「糖尿病」「目の衰え」が10%台と続いている

※値は%です

Q:あなたが両親のことで、今気になっている病気や症状はありますか... (MA)

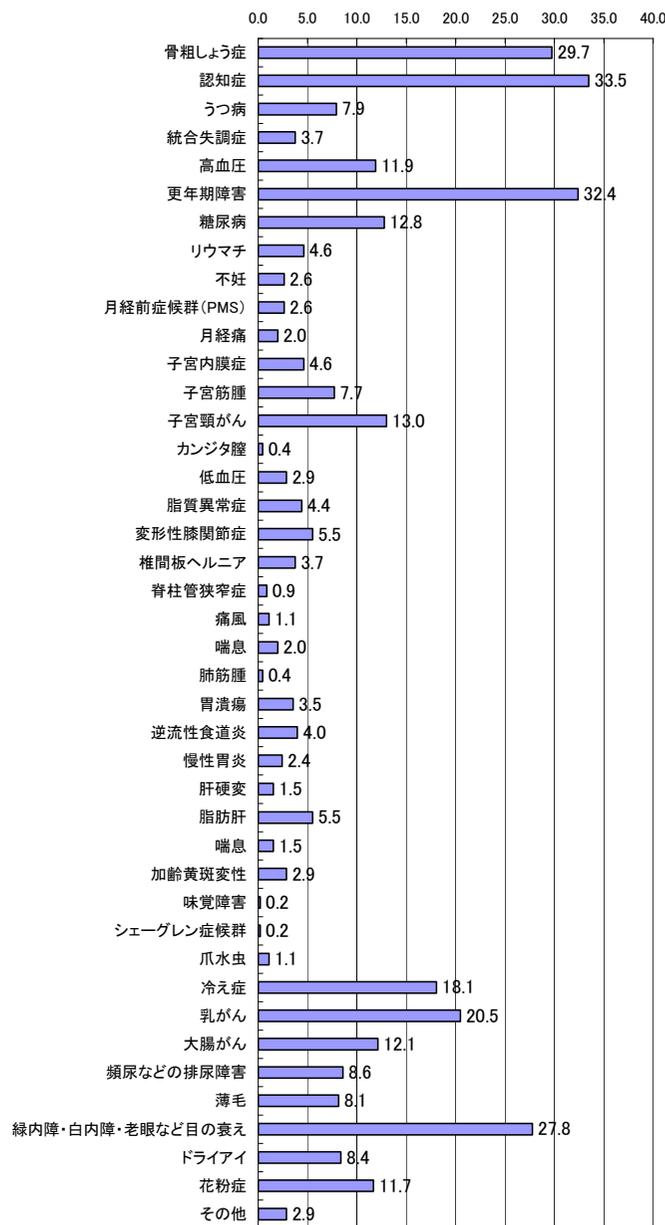


両親の「今」気になる病気・症状

「高血圧」が37.6%と最も多く、次いで高齢になると増える「認知症」が26.8%、「目の衰え」と「糖尿病」「骨粗しょう症」が10～20%台と続いている。

※値は%です

Q:あなたがあなた自身のことで、将来気になっている病気や症状はありますか... (MA)



自身の「将来」気になる病気・症状

最も多いのが「認知症」33.5%。次いで「更年期障害」が32.4%。「骨粗しょう症」が29.7%、「目の衰え」27.8%と続いている。自身の今の病気としては数値の低かった(7.4%)「乳がん」を20.5%の人が将来的には不安に思っている。

※値は%です

Q:あなたが夫のことで、将来気になっている病気や症状はありますか... (MA)



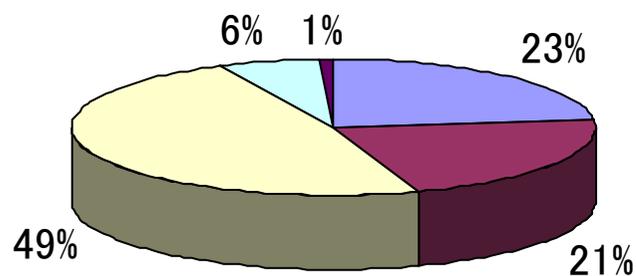
夫の「将来」気になる病気・症状

最も多いのが今も一番気になっている病気、「高血圧」29.5%。
次いで「認知症」が29.0%。「糖尿病」が25.8%、「目の衰え」
22.8%と続いている。

※値は%です

病院に行くタイミング

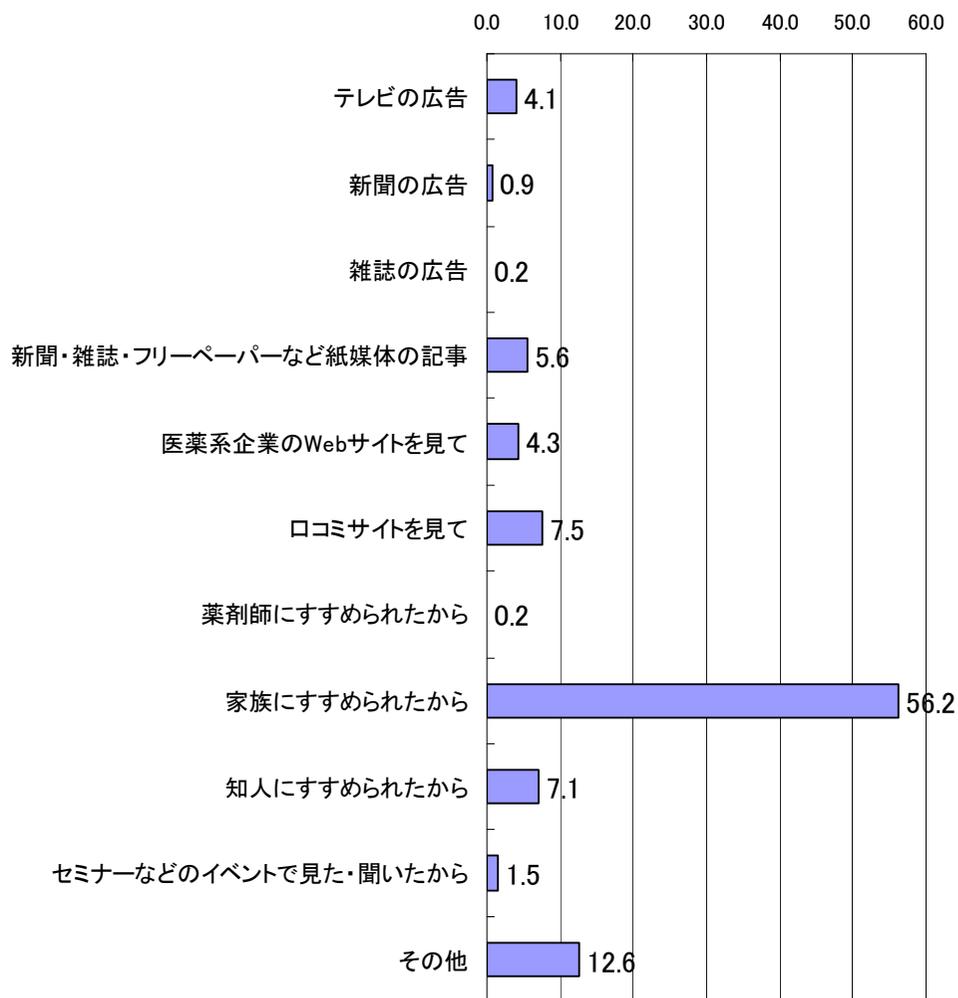
Q:日常生活の中において、病院で受診するタイミングはいつ(何)ですか...(SA)



- 一般薬(OTC薬)で症状が改善しないから
- かかりつけの病院・医師がいるのですぐに受診する
- 痛みなどの症状に我慢できなくなったから
- 家族への感染を防ぐため
- その他

半数は「痛みなどの症状に我慢できなくなったから」受診している。

Q:日常生活の中において、病院で受診するきっかけは何ですか... (SA)



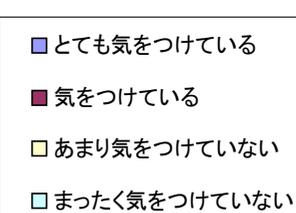
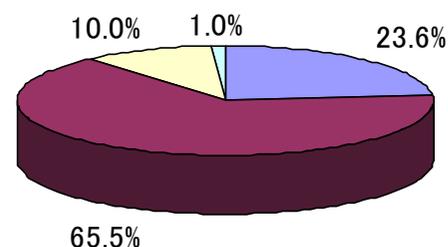
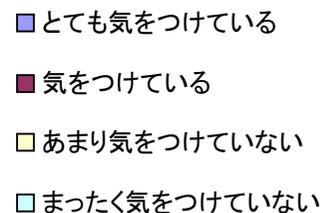
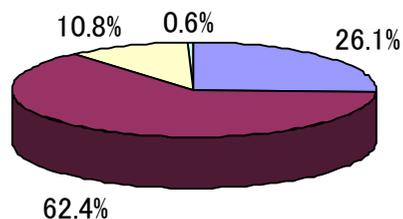
病院に行くきっかけ

56%が「家族にすすめられた」のをきっかけに受診。
メディアでは口コミサイト7.5%、紙媒体の記事5.6%と続いており、単なる広告よりも影響力があると考えられる。

家族の健康管理について

Q: 家族の健康管理に気をつけていますか... (SA)

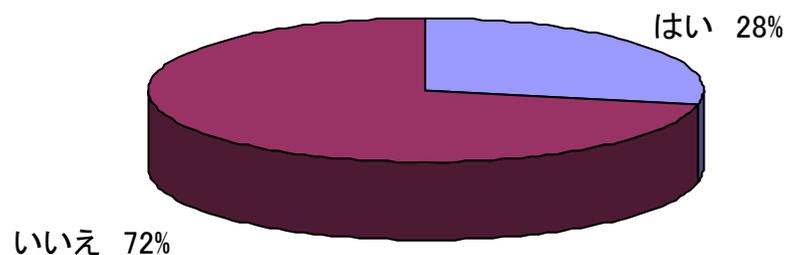
Q: 家族の健康のために日々の料理に気をつけていますか
... (SA)



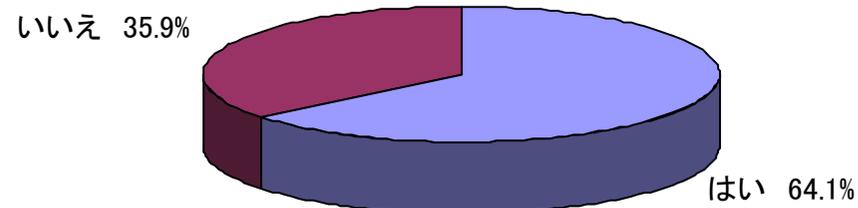
家族の健康管理に気をつけている人(とても気をつけている、気をつけている)が88.5%。
さらに、家族の健康のために日々の料理に気をつけている人(とても気をつけている、気をつけている)が89.1%と
ほぼ9割の主婦が家族の健康に留意している。

家族の病院選びについて

Q:夫が行く病院はあなたが決めていますか... (SA)



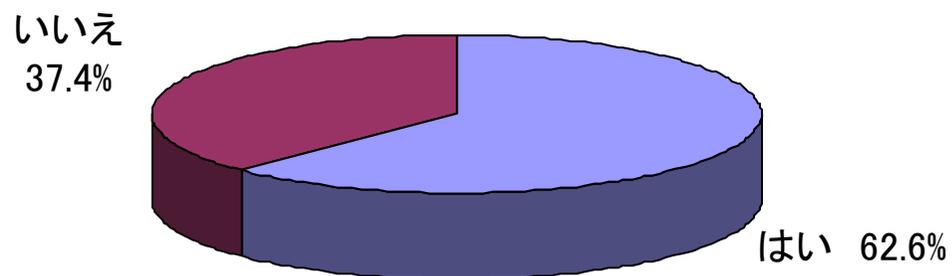
Q:子供が行く病院はあなたが決めていますか... (SA)



夫の病院を決めている妻は約3割に対し、子供の病院は約7割の主婦が決めている。小児科含む病院情報への関心度が高いといえる。

家族が飲む薬に対する影響力

Q: 家族が体調不良を訴えた際に飲む薬をあなたがすすめるもしくは決めていますか... (SA)



6割の主婦が家族が飲む薬の選択権を持っている。